

国立西洋美術館を世界遺産に！！

「ル・コルビュジエの建築と都市計画」

The Architectural and Urban Work of Le Corbusier



【発行】 2009(平成21年)年12月 台東区世界遺産登録推進室 TEL03-5246-1111



「世界遺産」のことをもっと知ろう！

世界遺産の分類&登録件数

世界遺産は次の3種類に分けられます。

2009年10月1日現在の登録件数

文化遺産	顕著な普遍的価値をもつ記念物、建造物群、遺跡、文化的景観 ヌビアの遺跡群、アテネのアクロポリス、万里の長城、姫路城など
自然遺産	顕著な普遍的価値をもつ地形や地質、生態系、景観、絶滅のおそれがある動植物の生息地等を含む地域 イグアス国立公園、ダイナソール州立公園、屋久島など
複合遺産	文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えているもの マチュ・ピチュ、ギョレメ国立公園とカッパドキアの岩石群、泰山など

… 689件

… 176件

… 25件

合計

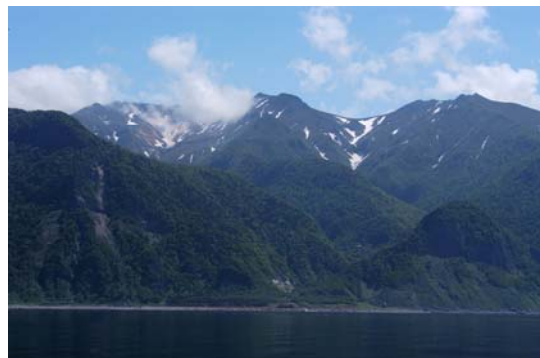
890件



[文化遺産]
メンフィスのピラミッド地帯
(エジプト・1979年登録)



[複合遺産]
マチュ・ピチュ
(ペルー・1983年登録)



[自然遺産]
知床
(日本・2005年登録)

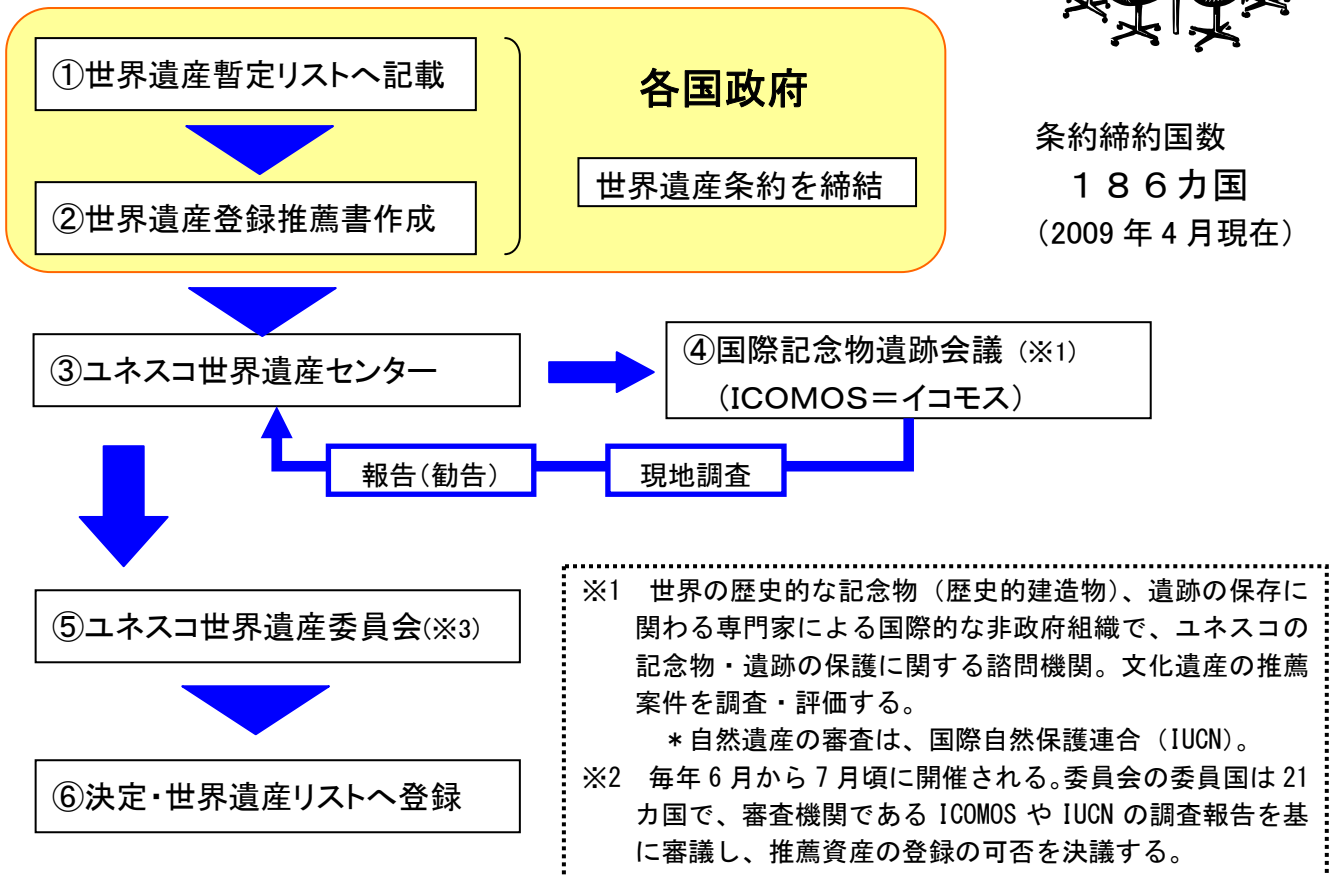
世界遺産登録までのプロセス



条約締約国数

186カ国

(2009年4月現在)



世界遺産登録のための基準（文化遺産の場合）



文化遺産として登録されるためには、次の評価基準のいずれか一つ以上を満たすことが必要です。

- ①人間の創造的才能を表す傑作である。
- ②建築、科学技術、記念碑、都市計画、景観設計の発展に重要な影響を与えた、ある期間にわたる価値観の交流又はある文化圏内での価値観の交流を示すものである。
- ③現存するか消滅しているかにかかわらず、ある文化的伝統又は文明の存在を伝承する物証として無二の存在（少なくとも希有な存在）である。
- ④歴史上の重要な段階を物語る建築物、その集合体、科学技術の集合体、あるいは景観を代表する顕著な見本である。
- ⑤あるひとつの文化（または複数の文化）を特徴づけるような伝統的居住形態若しくは陸上・海上の土地利用形態を代表する顕著な見本である。又は、人類と環境とのふれあいを代表する顕著な見本である。（特に不可逆的な変化によりその存続が危ぶまれているもの）
- ⑥顕著な普遍的価値を有する出来事（行事）、生きた伝統、思想、信仰、芸術的作品、あるいは文学的作品と直接または実質的関連がある（この基準は他の基準とあわせて用いられることが望ましい）。